

平成 30 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	オーラルメディシン・口腔外科学講座
主任教授	野村 武史
プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営)	野村 武史
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科認定医・専門医 NPO法人 日本口腔科学会 認定医 一般社団法人 日本老年歯科医学会 認定医 一般社団法人 日本口腔診断学会 認定医 公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会 認定医
研修期間 (入学時期)	原則として 1 年間 (最大 6 年間の研修が可能である) (4 月)
受入れ人数 (総数)	年度毎 約 8 名
指導医	野村武史 (口腔外科、口腔がん)、佐藤一道 (口腔外科、有病者歯科)、 澁井武夫 (口腔外科、唇顎口蓋裂、顎変形症)、酒井克彦 (摂食・嚥下)
修了の認定要件	各学会の専門医および認定医の資格要件に沿った臨床研修に関する実績報告書を作成することにより修了とする。
プログラムの目的	
日本口腔外科学会の認定医・専門医、日本口腔科学会、日本口腔診断学会、日本老年歯科医学会、日本顎顔面インプラント学会の各認定医取得要件を満たすために必要な研修、論文作成等を実践する。	
ユニット	
オーラルメディシン・口腔外科学講座の臨床専門専修科プログラム	
一般目標 (GIO)	
日日本口腔外科学会の認定医・専門医、日本口腔科学会、日本口腔診断学会、日本老年歯科医学会、日本顎顔面インプラント学会における各認定資格を取得するためあるいは同等の要件を満たすための知識および技能を修得する。	
行動目標 (SB0s)	
1. 基本的な口腔外科、オーラルメディシン (口腔内科) の知識、技能、態度を習得できる。 2. 医科研修により全身と口腔との関連および周術期管理を学ぶことができる。 3. 摂食嚥下リハビリテーション、栄養サポートチーム (NST)、呼吸サポートチーム (RST)、周術期口腔機能管理を通してチーム医療、多職種連携を学ぶことができる。 4. 口腔外科、オーラルメディシンに関する学術論文の作成、学会発表を行うことができる。	
方略 (LS)	
1. 歯科・口腔外科外来、口腔がんセンター外来、病棟・手術室における口腔外科・内科研修を行う。 2. 1 年間で最大 3 科の医科を選択し研修を行う。	
評価 (EV)	
症例毎の形成的評価	
専門学会での学会発表	
専門領域における学術論文の作成	
プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準	
日本口腔外科学科の認定医申請には、学会在籍 6 年以上、手術症例数 100 例以上、学術論文数 3 編、ならびに入院管理症例数 50 例以上を必要とする。日本口腔外科学会の専修医申請には学会在籍 2 年以上、診断レポート 10 例、周術期管理レポート 10 例、手術管理症例数 30 例以上を必要とする。日本口腔科学会は学会在籍 3 年以上在籍していること、日本口腔診断学会、日本顎顔面インプラント学会は、学会在籍 5 年以上、関連する研究発表、学会発表を必要とする。日本老年歯科医学会認定医申請には、学会在籍 5 年以上、研修機関において指導医のもとで 3 年以上の高齢者に必要とされる歯科医療に 10 症例以上経験し、これに関する発表を行うことを必要とする。	
問い合わせ先	教授・野村 武史 (tanomura@tdc.ac.jp)